政治史Ⅰ

科目ナンバリング　POL-103
選択　　2単位

日暮　吉延

1. 授業の概要（ねらい）

この講義の目的は、戦後日本の政治史についての詳細な検討を通じて、国家の行動、政治家・官僚の意思決定、権力闘争などをリアルに理解することです。主要な検討対象は戦後日本政治史ですが、現代国家の内政と外交は密接に連動しているので、国際環境、諸外国との関係についても検討します。

なお戦前期日本の外交を学ぶ日暮担当の「外交史」は、この講義と密接な関係にあります。

2. 授業の到達目標

1）政治史に関する基礎的な知識を修得し、政治外交の仕組みを他者に説明できる。
2）「政治」の具体的なあり方、日本社会の特質を理解できる。
3）内政と外交がいかに関連しているかを具体的ケースに即して理解できる。
4）戦後日本の政治過程の分析を通じて、現在の日本の位置について理解できる。

3. 成績評価の方法および基準

試験の成績（90%）、ディスカッション・ペーパー、授業への貢献度（10%）等を評価します。

4. 教科書・参考文献

教科書

特定の教科書は使用せず、授業中に参考資料を配付します。

参考文献
福永文夫　『日本占領』　中公新書
北岡伸一　『自民党』　中公文庫
日暮吉延　『東京裁判』　講談社現代新書

5. 準備学修の内容

毎回、自分でとったノートをなるべく当日中に一度、読み返すこと。疑問に思った部分があれば、事典等で調べたり、文章の修正をしたりすること。この簡単な作業をするだけでも学習成果は相当に上がるはずです。

6. その他履修上の注意事項

・日暮が担当する「外交史」「国際関係論」の履修が望まれます。
・充実したノートを自分自身で作成することが重要です。その理由は二つ。（1）講義を聴いて「ここは重要だ」と自分が判断した部分を迅速にメモする（ノートをとる）ことは、社会に出てから必要となる「問題のポイントをつかむ力」「判断力」をつける訓練になります。（2）人間は残念ながら物事をどうしても忘れてしまうので、覚えておくためにメモ（覚え書き、備忘録）をとることが必要です。

7. 授業内容

【第1回】　ガイダンス
【第2回】　占領とは何か
【第3回】　占領に対する日本人の対応
【第4回】　皇族内閣と占領
【第5回】　非軍事化政策の展開（1）
【第6回】　非軍事化政策の展開（2）
【第7回】　戦争責任問題
【第8回】　戦後政党の成立
【第9回】　吉田茂の思想と政策
【第10回】　民主化政策の展開（1）
【第11回】　民主化政策の展開（2）
【第12回】　民主化政策の展開（3）
（前後の時期、オンライン授業公開）
【第13回】　中道連立政権
【第14回】　試験、および議論のフィードバック（授業内での解説）
【第15回】　オンライン授業：非軍事化と民主化（第12回授業と同時期に公開）